

京都銀行協会 業務だより

令和3年4月
(NO. 265)
一般社団法人 京都銀行協会
〒604-0924 京都市中京区木屋町通二条下ル
TEL 075-221-2134
FAX 075-221-2139

I. 部会関係

○ 部 会

(1) 出納交換部会【銀水会】(4月15日)

- ・日本銀行から、電子メールまたはファクシミリにより授受する国庫関係書類の拡大、国庫金の出納整理期間中における事務取扱い上の留意事項、残高証明願について報告。
- ・銀行協会から、3月中と令和2年度中の手形交換高、不渡状況、手形交換実施状況のほか、代行要員による交換所決済業務訓練の報告、主任交換方事務研修会の開催予定、文書交換に係るアンケートのお願い等について報告。

(2) 業務部会(4月21日)

- ・「りそな銀行の働き方改革と女性の活躍」について情報交換。

II. 総務部、業務部関係

1. 外部諸会合

(1) 京都市まちの美化推進事業団の監査を実施(4月13日)。

(2) 京都府金融広報委員会の監査を実施(4月15日)。

2. 主な社員宛通知

- 警察署等からの刑事訴訟法第197条第2項による捜査関係事項照会について《4月中40件》。

III. 交換部関係

1. 令和3年4月の手形交換取扱動向(3頁表1参照)

— 令和3年4月の手形交換取扱高は、枚数ベースでは前年比14.7%減、金額ベースでは同8.7%減となった。

また、4月の取引停止処分者は無し(前年と同じ)、不渡報告掲載者数は1名(前年と同数)となった。

2. 令和2年度手形交換方無事故表彰は該当なし。

3. 文書交換に係るアンケート調査の実施を京都手形交換所加盟銀行母店宛に通知(4月16日)。

4. 新型インフルエンザ等対策特別措置法にもとづく緊急事態宣言の再々発出に伴う京都手形交換所の対応について京都手形交換所加盟銀行母店宛に通知（4月28日）。

IV. 銀行とりひき相談所関係

- 令和3年4月の相談・苦情取扱動向（4頁表2参照）
 - 令和3年4月の相談・苦情取扱件数は11件、前年比では9件の減少となった。このうち、苦情の申出は2件であった。

V. 銀行倶楽部関係

1. 倶楽部運営委員会を開催（4月16日）。
 - 前期実績、今期計画等を付議。

2. 令和3年4月の銀行倶楽部利用状況（4頁表3参照）
 - 令和3年4月の当会館利用人員は194名、飲食関係売上高は331千円と、いずれも前年比皆増となったが、一昨年と比べると新型コロナウイルス感染症の影響を受け低調であった。

以 上

(表1)手形交換および不渡関係等 (令和3年4月)

()内は前年同月比増減(▲)率

手形交換高	枚数	73千枚	(▲14.7%)
	金額	1,718億円	(▲8.7%)
取引停止処分数	人員	0名	(0.0%)
	枚数	0枚	(0.0%)
	金額	0百万円	(0.0%)
不渡報告数	人員	1名	(0.0%)
	枚数	1枚	(0.0%)
	金額	0.23百万円	(▲88.5%)

(単位 名)

取引停止処分者の業種別内訳	製造業	0	不動産業	0
	農林・漁業・水産業	0	運輸・通信業	0
	鉱業	0	サービス業	0
	建設業	0	その他(含、業種不明)	0
	卸売業	0	合計	0
	小売業	0		

(表2) 銀行とりひき相談所取扱状況 (令和3年4月)

○ 銀行とりひき相談所取扱状況 (件)

項 目	当 月	前 月	前 年 同 月
預 金 業 務	0	5	5
貸 出 業 務	2	2	3
内 国 為 替 業 務	0	0	1
手 形 交 換	0	1	1
外 国 為 替 業 務	0	1	2
チ ャ ネ ル 業 務	0	0	1
証 券 業 務 (窓 販)	0	0	0
保 険 業 務 (窓 販)	0	0	0
デ リ バ テ ィ ブ 業 務	0	0	0
そ の 他 の 銀 行 業 務	0	0	0
会 員 銀 行	4	0	2
銀 行 協 会	2	2	0
そ の 他	1	4	3
相 談 小 計	9	15	18
苦 情	2	4	2
合 計	11	19	20

(表3) 銀行倶楽部利用状況 (令和3年4月)

1. 利用人員 (名)

午 餐 会	各 部 会	講 演 会 ・ 会 食 等	合 計	前 月 比	前 年 同 月 比
112	26	56	194	▲26	194

2. 利用回数 (午餐会・各部会を除く、回)

社 員 銀 行	準 社 員 銀 行	そ の 他	合 計	前 月 比	前 年 同 月 比
0	0	2	2	▲3	2

3. 飲食関係売上高 (消費税・サービス料を除く、千円)

宴 会 部 門	午 餐 会 ・ 各 部 会	合 計	前 月 比	前 年 同 月 比
20	311	331	▲88	331